

## 「九尾まつり」でトマトを使った商品を販売

## 活動のねらい

- ・苗のプレゼントに歓喜した6年生が、トマトの栽培から収穫、商品化、販売までを一連の流れとして体験することで、野菜づくりの理解を深めるとともに、将来を考えるキャリア教育につなげる。
- ・教科「総合」での学習を基礎に、那須町観光協会主催の「九尾まつり」に参加し、自分たちで育てたトマトを使った商品の販売を目標に掲げています。この取り組みを通じて、野菜がどのように流通し、消費者のもとへ届くのかを、実践的に学ぶ機会とします。



## 活動の概要と流れ

- ・届いた苗はポットに仮植し、花がついた頃苗を農園に植え替え、支柱を建てた。
- ・支柱に茎を固定した。
- ・10時の休み時間、昼休み、教科「総合」の時間を使って雑草取り、芽かき、収穫、洗浄、袋詰め、冷凍保存をして商品試作を行う。
- ・夏休み中は、家庭と協力し、収穫や冷凍保存を実施した。
- ・祭りで販売する商品は「トマトゼリー」「手作りトマトソースを使ったホットドック」の2品とした。
- ・9月、商品販売のための材料の注文や買い出し、「トマトソース」「トマトゼリー」の調理を行った。
- ・9月28日「九尾まつり」当日に商品を調理して販売した。



## 調理(実習)メニュー

トマトソース、ホットドック、トマトゼリー

## 実施内容のポイント

- ①栽培キットのリーフレットやWEBの資料を活用して育て方や調理の調べ学習をした。  
(収穫、試作は家庭の協力がありました。)
- ②地域の祭りに地域住民として参加できた。
- ③地域ラジオ「だっばラジオ」(<https://dapparadio.net>)の児童パーソナリティーの回に出演し、情報発信ができた。



## 取り組みの工夫と実践の成果

昨年度、他学年で収穫したトマトを給食や親子料理教室で活用した経験を踏まえ、次年度は6年生での実施計画を立てていました。  
今年度では6年生のメンバーを選出し、栽培の工程に合わせて迅速に活動を始められたことが、学びの質の向上につながりました。

活動を重ねるうちに、児童同士の交流が活発になり、協力し合う場面が増えました。さらに、地域の祭りへ参加し、自分たちが育てたトマトを販売する体験を通して、地域の活性化に関わることができました。販売活動では、多くの来場者と関わることで、児童のコミュニケーション能力も大きく向上しました。



## 感じたこと

活動全般を通して担当職員と児童に達成感があった。  
栽培では、支柱の立て方や茎の固定など「これでいいのかなあ」と試行錯誤して行っただが、倒れてしまいダメになったトマトも多く、残念な場面もありました。

商品化や販売でお客さんの笑顔や「おいしかった。また買いに来た。」などの感想で充実感持てました。活動を通して、児童の笑顔も多く見られました。

## 受賞理由

トマトの栽培から商品化、販売までを一貫して体験し、キャリア教育へつなげた点が光る取り組みです。地域の祭りでゼリーなどを自ら調理・販売する実践に加え、地元ラジオでの情報発信や家庭との連携など、学校の枠を超えた独自の活動を展開しました。地域と深く関わり学ぶ姿勢が、子どもたちの社会性と主体性を大きく育くんだ点を高く評価しました。